



実践クラブ
上田 義定
議員

▼水道事業統合及び料金改定について

Q 水道事業を統合する理由は。

A 水道事業の経営統合により料金の格差を是正するとともに経営基盤の強化を図り、良質な水を確保し、災害に強い水道施設の整備を行いたい。

Q 水道事業の現状と問題点は。

A 主な課題として水源の水質が悪化している地域について良質な新水源の確保、老朽化した水道管の更新、築五十年以上を経過した配水池の更新・耐震化などがあり、まず有明町簡易水道の水質悪化と水道管の老朽化を解決するため五年計画で有明町簡易水道再編推進事業を行っている。

Q 改定後の水道料金は幾らになるのか。

A 一般家庭の平均使用水量である十九立方メートルで計算した場合、現在島原地区で千八百六十円、有明地区で千九百円であるが、改定後は二千六百円程度を見込んでいる。

▼都市計画の見直しについて

Q 都市計画マスタープランの見直しと並行して都市計画道路の見直しが進んでいるが整合性は図られているのか。

A 都市計画マスタープランは、市の都市計画の基本方針を定めるものであり、個別の都市計画道路には影響しないと考えている。

Q 新湊二丁目から南下川尻に抜ける親和町湊広場線はこの地区の道路問題を解消する重要路線と考えるが、市の認識はどうか。

A 市街地へのアクセス道路として必要な路線だと考えている。

Q 現在整備中の湊道から白土湖に抜ける霊南山ノ神線はゾーン三十の指定地域だが速度規制はどうなるのか。

A 時速三十キロ規制で警察と協議したいと考えている。

▼教育行政について

Q 学力テストの学校別の成績公表を認めるとの報道があったが、次年度以降の本市の教育委員会の方針は。

A 学校別の成績の公表については、学校の序列化や過度な競争が生じないように配慮しながら慎重に進めていきたいと考えている。



新風会
永田 光臣
議員

【関連質問】

▼雲仙普賢岳噴火災害に関する資料の保管方法について

Q 小・中学校における災害関連資料の保管と活用状況はどうか。

A 市内の小・中学校では、市が作成した記録集などを職員室や図書室に保管している。また、四小では当時の新聞記事やビデオ、災害関連書籍等も保管している。五小では新聞記事のほか全国からの激励の手紙、被災遺物や噴石などを校舎の第三棟に災害資料室として保管している。これらの資料等は六月三日のいのりの日に各学校での講話等で活用されている。

Q 五小の第三棟にある全国からの激励の手紙などは、箱に入れて保管するだけではなく、感謝の気持ちを持っていつでも見学できるように展示をするべきだと思いが市長の考えはどうか。

A 被災の歴史を風化させないように、教育委員会や現場の声を聞きながら、保管方法や校舎のあり方を含めて協議を進めていく必要がある。

～ 議会を傍聴してみませんか～

議会では、市民皆様の日常生活に関係のある重要な問題が審議されます。そのほか市政全般についての一般質問も行われます。

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます。

お気軽に傍聴にお出かけ下さい。傍聴席の定員は60人です。

議会日程などお問い合わせは、議会事務局まで。 TEL 62-8027